

(株)セブン-イレブン・ジャパンが 「中丹ふるさとを守る活動」に関する協定を締結

中丹ふるさとを守る絆ネット推進事業

要 旨

京都府中丹広域振興局と舞鶴市、綾部市の両市は、2月15日（木）に、コンビニエンスストア大手のセブン-イレブン・ジャパン（本社・東京都）と高齢者等の見守り活動を推進するため「中丹ふるさとを守る活動に関する協定」を締結しました。

協定参加のセブン-イレブン13店舗（舞鶴・綾部）では、店内や宅配サービス等で高齢者等の異変を察知した場合、消防署や市役所等に情報連絡するとともに、今回、府内のセブン-イレブン店で初となる移動販売（舞鶴1店舗）も開始され、見守り活動を併せて実施することとなりました。

また、福知山市内のセブン-イレブン店は、既に同様の見守り活動が実施されており、今回の協定締結により中丹地域のセブン-イレブン全店が見守り活動を行います。

コンビニエンスストアの見守り活動は、地域住民の方々が住み慣れた土地で安心し、いきいきと暮らせるためのセーフティーネット構築に大きく貢献いただけるものと期待しています。

1 「中丹ふるさとを守る活動に関する協定締結式」の概要

(1) 日 時 平成30年2月15日（木）午後2時から2時40分

(2) 場 所 府舞鶴総合庁舎第1会議室

(3) 締結者 【事業者】 セブン-イレブン・ジャパン代表取締役社長（廣田ゴーンネージャー）

【市】 舞鶴市長（山口副市長）、綾部市長（山崎副市長）

【府】 中丹広域振興局長（野村局長）

※括弧書き協定出席者

(4) 内 容

見守り活動における役割分担や通報体制等を定めた協定書・覚書を各市毎に3者（覚書きは2者）で締結

2 協定式の様子



前列手前から山崎副市長・山口副市長・廣田ゴーンネージャー・野村局長 後列店長



府内初：セブン-イレブンの移動販売車（協定締結後の出発式）

《「中丹ふるさとを守る絆ネット推進事業」の概要》（平成23年2月創設）

協定締結実績（今回含む）

ア) 見守り活動：12事業者23協定（福知山市9協定、舞鶴市8協定、綾部市6協定）

イ) 農村交流活動：4事業者 4協定（福知山市4協定）※うち、1事業者は見守り活動も実施（重複カウント）